

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06202
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開講場所 (キャンパス・施設)	広島キャンパス			
2. 科目名	地域文化学への招待—多文化共生社会にむけて—					
	学問分野	番 号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員	栗原武士 人間文化学部国際文化学科 准教授 小川俊輔 人間文化学部国際文化学科 准教授					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 7 月 27 日 (土) ~ 平成 31 年 7 月 27 日 (土) 9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 (90 分 × 2 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	50 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>平成 32 年度に新設される県立広島大学地域創生学部地域創生学科：地域文化コースでは、「多文化共生」をテーマの一つにかかげ、ますます多様性が高まる現代社会において、さまざまな文化的背景をもった人々がどのように共生していくかを学ぶことができます。</p> <p>本講義では、2 名の講師が現代アメリカ文化と日本語文化をとりあげ、それぞれの社会でどのように異文化との共生の試みがつづけられてきたかを考察します。その上で、学生のみなさんとこれからの多文化共生社会のあり方を考えていきます。</p> <p>①栗原武士「文学と川：現代アメリカ文化における異文化間接触」 古来より、川は異なる文化の境界線であると同時に、様々な文化的背景を持つ人々が行き交う交通路でもあるという、二つの異なる側面を持ったものとして捉えられてきました。本講義では現代アメリカ文学（映画）で描かれる川のイメージを中心に、アメリカの歴史において異なる文化がどのようにへだてられ、そして混じり合ってきたのかを、歴史的事実を元に考察します。そのうえで、民族的・人種的平等という理想を、アメリカ社会がどのように追求してきたのかを学びます。</p> <p>②小川俊輔「日本の多言語化」 「日本で話されている言語は？」と問われると、いまだに「日本は単一言語国家であり、日本語だけ」と答えてしまう人が多いようです。しかし、実態は全く異なっています。皆さんも、少なくとも英語、中国語、韓国朝鮮語については、生活する中で直接耳にする機会があったのではないのでしょうか。しかし、それだけではありません。本講義では、現代日本における多言語状況を確認し、「多文化共生」の視点から、望ましい言語文化や言語サービスについて、受講生の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月12日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月13日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。